

第3回佐賀駅前広場等整備・活用検討会議

■日時：令和3年3月23日（月）14：00～14：50

■場所：佐賀市役所2階 庁議室

■参加者：（委員）荒牧軍治、香月道生、江口英樹、木下博幸、柴戸晶子、富吉賢太郎、保田俊（代理山手）、馬場久雄、前川直、江副太、川崎博満、江頭省吾、植松洋人、白井誠、福島龍三郎（代理江頭）

（事務局：佐賀駅周辺整備構想推進室）

武藤英海、池田剛、西洋徳、園田卓司、田中克弥、井手康祐

大串賢一、梅崎昭洋、姉川久、江口弘行、嘉村浩二

（事務局：佐賀県都市計画課）楠英人、垣内尚子、中橋勝也

1. 開会
2. 前回会議振り返り
3. 事業進捗状況の報告（市説明）
4. 検討事項1【佐賀駅前広場整備・活用】

○委員

- ・変更後のイメージ図の大屋根の柱が増えているように見えるが、デザイン等の検討はどうするのか。

➡事務局（市）

- ・イメージ図は便宜上の図であり、大屋根については今年度中にプロポーザルで業者を選定し、その後デザインを含め検討・設計を進めていく。

○委員

- ・変更後のイメージ図について、植栽と歩道の間隔はどれくらいになるか。変更前より広くはなっているが、それでも中央の広場が手狭に見える。広く使うため植栽をギリギリ歩道側に寄せたり、そもそも可動式の植栽を検討してはどうか。

➡事務局（市）

- ・歩行者動線は4～5mは必要と考えているが、現地を見ながら調整したい。

○委員

- ・日常使用も念頭に、日常と非日常のバランスの取れた配置をお願いしたい。

○委員

- ・大屋根のデザインなどはこれからとの事だが、空間デザインの力は専門家に頼るところが大きいので、大枠の整備計画は事務局案でOKとして、デザインは専門家の意見を聞きながら進めて欲しい。
- ・来年度も会議を継続するのであれば、随時進行状況を示しながら進めて欲しい。

➡事務局（市）

- ・来年度も引き続き、随時報告しながら進めていく。
- ・水景施設については今回まだ具体案を示せていないので、継続検討課題としたい。

5. 検討事項2【県道佐賀停車場線在り方検討】

○委員

- ・駅前の実験について、オフィス街なので場所的に土、日は厳しいと思っていたが人出はあったか。

➡事務局（市）

- ・12日（金）は、平日であり天候も悪かったが、周辺オフィスで働く方が多く昼食を買いに出てこられていた。土日も想定していたより人出は多かった。

○委員

- ・土日は街なかでもイベントがあっており、相乗効果もあると思うが人出は多かった。特に、最近珍しい親子連れが多かったと感じる。

○委員

- ・イベントの連続性、つながりがあったのが良かった。この風景が日常になっていけば良い。北もアリーナができることで、南北共に人の流れが生まれると感じた。

6. その他

○委員

- ・スケジュールを改めて教えて欲しい。

➡事務局（市）

- ・北口広場と交差点は4月末完了、南口広場は5月末から6月頃に工事に取り掛かり、令和4年以内に完了を目指す。市道三溝線は電線地中化もあり、全線完了は令和6、7年度までかかる。国スポ開催時までには東側の地中化、高質化が完了する予定。
- ・県道再整備のスケジュールはまだ決定していない。

○委員

- ・西友跡地の民間開発誘導の状況は。

➡事務局（市）

- ・旧西友駐車場跡地の三分の一を取得し、残りの三分の二の所有者であるJA佐賀市中央と共同で民間開発誘導（ホテル＋商機能）の誘致を考えているが、コロナ禍によりディベロッパーの反応は微妙な状況。大手コンサルと事業者ヒアリングを行っており、コロナの状況を見極めつつ、引き続き開発誘導に取り組んでいきたい。

7. 意見交換

8. 現地確認

9. 閉会